

平成15年度第2回日本物理療法学会評議員会議事録

開催日 : 平成15年10月25日(土)

開催場所 : 三原リージョンプラザ 南館会議室

出席者 : 両角、青木、加地、川村、日下、嶋田、菅原、杉元、千賀、武政、千知岩、
濱出、日高、山本、岡崎(準備委員長)、古谷、佐藤(監事)

書記 : 高見澤

【事務局報告】

会員動向(平成15年10月21日現在)について

<一般会員> 287名

平成15年度分納入者	142名(新規:9名)
平成14年度分納入者	14名
平成13年度分納入者	4名

計 160名

<賛助会員> 11社

平成15年度分納入社	8社
------------	----

【議事】

1. 平成15年度事業報告

- ・第11回日本物理療法学会学術集会について(広島県立保健福祉大学)
大会長 川村博文先生より大会運営の協力要請あり。

2. 平成16年度予算案(暫定予算)

平成15年度決算出ていないため、暫定予算案とし、次年度第1回評議員会までに予算案を作成することで確認された。

3. 平成16年度事業報告

- ・第12回日本物理療法学会学術集会について(千葉医療福祉専門学校)
大会長 古谷実先生より開催日、開催場所など現在検討中であり、詳細は後日改めて評議員に各々連絡を入れ、決定することで確認された。

4. その他

事務局業務分化について

今年度から機関誌発送を遅延させないよう、事務局より編集・発行作業を切り離し、機関誌編集部を新設した。

この任には常葉学園医療専門学校菅原先生（評議員）が立候補され、同時に作業を効率化するため編集委員長も依頼した。なお、現編集委員長 杉元雅晴先生は副委員長として継続して頂くことも確認された。

褥創学会関連プロジェクトについて

日本物理療法学会として褥創学会との関わりの中で、1) 物理療法の褥創治療への応用、という内容の他に2) ガイドライン作成、3) チームアプローチを主体としたワーキンググループの組織編成を実施していく。このプロジェクトの責任者として、専門領域部門より、濱出茂治先生、日本物理療法学会より、日高正巳先生が選任され確認された。

また、事務局は過去の褥創関連研究者をピックアップした後、前記責任者と連絡をとり、チームプロジェクトの一員として招致していくことで確認された。

平成17年度学術集会について（候補地選び）

現時点で未定。今後、事務局より候補地として、北海道千歳リハビリテーション学院の伊藤俊一先生に依頼予定。候補地決定後、改めてと報告すると確認した。

次期選挙について（事務局候補選び）

来年度、評議員選挙は予定通り実施する。ただし、次期事務局選定に関しては、暫定的に平成17年度まで、藤リハビリテーション学院が継続し、平成18年度より、広島県立保健福祉大学が引き継ぐことで確認した。